

【報道関係各位】

2021年9月22日  
株式会社ベネッセホールディングス  
ブランド・広報部

コロナ禍の中の新しい「体験学習」の形を、「進研ゼミ」会員向けに受講費内で提供

## 15,000人以上の中学生が「アートの島」へオンラインツアー 「直島オンラインアート体験学習」を開催

株式会社ベネッセコーポレーション(本社:岡山県岡山市、代表取締役社長:小林 仁、以下:ベネッセ)は、「進研ゼミ中学講座」会員を対象として、「直島オンラインアート体験学習」を8月28日(土)にベネッセアートサイト直島(※)の施設で実施しました。

ベネッセアートサイト直島では1980年代から、作品鑑賞を通じて主体的に考える場を提供することを目指し、一部の美術館で対話型鑑賞を導入(2010年～)するなど、様々なプログラムを提供してきました。変化が大きく先が見えない時代と言われる昨今、教育やビジネス、人生において、自分の感性や価値観を深めて取り入れていくことの重要性が高まっています。このような背景のもと、「進研ゼミ中学講座」とベネッセアートサイト直島が共同で、アート作品の鑑賞を媒介として「変化の大きい時代を生き抜く力を身につける」教育プログラムの一環として、本企画を実施いたしました。

8月28日(土)のオンラインツアー「直島オンラインアート体験学習」には、全国15000人以上の中学生が参加し、「今は県外に出られないけど、中学講座会員のみんなと一緒に参加できて夏休みの一番の思い出になりました」「旅行に行くことが難しく、ストレスが溜まっている中で、このようなイベントを開催していただき本当にありがとうございました」など、非常に多くの参加者から満足のコメントをいただいています。

※「ベネッセアートサイト直島」株式会社ベネッセホールディングスと公益財団法人福武財団が行っているアート活動の総称。 <https://benesse-artsite.jp/>



中学生は自我に目覚め、人格が形成されていく大切な時期です。世の中の変化のスピードが増している現代において、この時期に「周囲に合わせる」のではなく、「自分のものの見方・価値観」を育む重要性は増えています。そして、この「自分のものの見方・価値観」を身につけるには、普段、自分が接している世界だけではなく、異なる世界・文化に触れ刺激を受ける「体験学習」が大切です。ただ、コロナ禍により中学生にとって「体験学習」は今まで以上にハードルが高くなってしまいました。本企画ではヴァーチャルツアーを開催することで、夏休みに旅行などの「体験学習」の機会が少なくなった中学生に直島の風景とアートに触れてもらい、世界の広さを感じてもらおうとともに改めて「自分のものの見方・価値観」について考えるきっかけを提供することを目的に、実施しました。

## ミライ科「直島オンラインアート体験学習」概要

### 開催日時

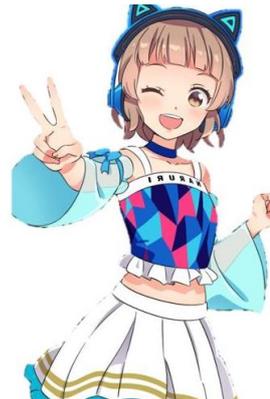
2021年8月28日（土）10時～11時

### 参加者

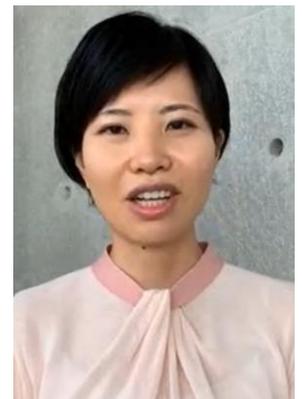
進研ゼミ中学講座の会員 15,000人以上（中1～中3）

### イベントのストーリー

「進研ゼミ中学講座」のバーチャルキャラクター「なるり」とイベントを視聴する中学生が、ガイドの藤原さんと地中美術館や家プロジェクトなど直島のアート施設をめぐるながら3つのミッションをクリアしていく設定。「常識にとらわれない力」「自分が信じたことを大切にする力」「まずはやってみる勇氣」を身につけていく。



なるり



藤原綾乃

（進研ゼミ中学講座キャラクター） （福武財団 アート部門）

### オンラインイベントの特長

#### ■ 参加型オンラインツアー

直島でのアート鑑賞ツアーをすることができるだけでなく、生配信に参加している視聴者は「チャット機能」を用いて、ナビゲーターの「なるり」や他の参加者とリアルタイムでコミュニケーションを取ることができます。

#### ■ 中学生に馴染みのない「アート」への興味を引き出す工夫

アートに興味がない中学生にも楽しんで参加してもらうことを目的に、普段、中学講座で一緒に学習していて馴染みのあるキャラクター「なるり」が旅をするストーリー仕立ての演出を実施。アートの知識・興味のない中学生が思わずはじめに思ってしまうような感想を「なるり」がつぶやくことで、「アートは難しいもの、自分とは関係のないもの」と思っているかもしれない、中学生たちの心理的ハードルを下げ、作品との距離を縮める役割を果たします。



※ミライ科とは、普段はなかなか時間をとりにくい「将来」のことをお子さまが考えるきっかけになることを願い2021年4月にスタートした進研ゼミ中学講座のサービスです。

<https://blog.benesse.ne.jp/chu5/miraika/>

本イベントの詳細ストーリーについては、本日公開予定の「教育情報サイト」の記事にて、詳しくご覧いただけます。

<https://benesse.jp/kyouiku/202109/20210922-2.html>

## 参加した子どもたちの声(抜粋)

- コロナ禍で、どこにも行けなくて残念でしたが、チャレンジのミステリーツアーで、直島に行けてよかったです！また、前から直島に興味があったので行けてよかったです。雑草（※）が木で出来ていたことに驚き、改めてアートって奥が深いなあと思った。特に常識にとらわれない力、なんでもやってみる力、を大切にしていきたい。※ベネッセハウスの展示作品：須田悦弘「雑草」
- 今年の夏は感染症の流行りにより旅行がいけなかったのでなるりさんと一緒に旅行に行けたような感覚になったのでとても楽しかったです。また、直島のアート作品を通してアートのすばらしさ、それを通じた思想の自由や他の意見にとらわれない自由性など、たくさんの事を学び、またそこからこれからの創作人生の自信にもなったので、とても良い体験となりました。今日は本当にありがとうございました。なるりさんとははじめて会いましたがとてもかわいかったです！衣装もよかったです！ありがとうございました！
- 実際に直島に行った気分になりました。夏のいい思い出にもなりました。そして常識にとらわれないこと、自分の考えを大切にすること、とにかくやってみること、この3つをこれから大切にしたいです。ありがとうございました(\*^▽^\*)明日のオンライン授業も参加しようと思います。
- アートは様々なものがあるんだということを知りました。今回見たアートは常識にとらわれおらず、好きな様に思ったことをそのまま作っていたことを知ったので、僕も常識にとらわれず、思ったことを積極的にやっっていこうと思いました。
- 直島の存在は知らなくて、こんなに美しくて魅力がある島のことを知れて良かったです。機会があればぜひ訪れたいです！なるりちゃんがかわいかったし、藤原さんの説明もわかりやすく最高でした。それから、これから大切にすることもみつけれられて良かったです。

## 「進研ゼミ中学講座」商品責任者 山根伊都子からのコメント

コロナによって中学生の学校生活は制限が多く、楽しみにしていた行事は見送りになっています。進研ゼミには学習の不安だけでなく、友達との関係、学校行事や部活動が思うようにできないことに対するつらい気持ちが子どもたちから寄せられていました。中学時代のかけがえのない仲間との様々な体験の機会が減ってしまっていることは、子供たちの将来を考えた時に大変危惧すべきことと感じていました。コロナ禍で迎える2度目の夏休みの終わりに、「困難があっても前を向いて、自分なりの価値観をもって進んでほしい」という思いもあり、ベネッセアートサイト直島と協力し、直島からのオンラインライブ授業を実施しました。アートと自然からもらえるメッセージの大きさに、会員の皆様から多くの感動の声、強く進んでいくという決意の声をいただけたことは、進研ゼミ中学講座一同、大変な喜びです。引き続き中学生のやる気をサポートしていきたいと思えます。

### 本ニュースレターに関するお問い合わせ先

株式会社ベネッセホールディングス ブランド・広報部 萩澤・ステンランド・宮本・濱野・齋藤

TEL: 042-357-3658 FAX: 042-389-1757